

第2回クリーンセンター連絡協議会 要点録

【日 時】平成30年12月22日(土) 午後4時～午後4時20分

【場 所】東部会館 視聴覚室

【出席者】

会 長：新石自治会

委 員：新石自治会 2名 新井自治会 2名 落川上自治会 2名

事務局：日野市 5名（環境共生部長、クリーンセンター長、ごみゼロ推進課長、
施設課長、ごみゼロ推進課課長補佐）

国分寺市 1名（環境担当部長）

小金井市 1名（環境部長）

浅川清流環境組合 4名（事務局長、事業課長、総務課長、総務係長）

【傍聴者】5名

【配付資料】

- ・次第 「第2回クリーンセンター連絡協議会 次第」
- ・資料1 「プラスチック類資源化施設建設工事について」
- ・資料2 「建設工事状況（平成30年12月21日現在）」
- ・資料3 「浅川清流環境組合 環境定点測定（平成30年度 冬季測定）」

【次 第】

1 開会

2 事務局紹介

前回の会議で委員から要望があり、今回より国分寺市及び小金井市の清掃担当部長が事務局として参加。冒頭2市の部長がそれぞれ挨拶をした。

<国分寺市環境担当部長挨拶>

- ・日頃より3市の可燃ごみの共同処理に関する特段のご理解とご協力を頂き、心より御礼を申し上げます。
- ・国分寺市では、来年度から新しい一般廃棄物処理基本計画がスタートする。新しい計画は、平成31年度から10年間の計画期間であり、3市による可燃ごみの共同処理を見据えたものとなる。
- ・この基本計画を推進するうえで重要なことは、国分寺市民や事業者、行政が一体となり、共通認識のもと、ごみの減量に取り組んでいくことだと考えている。
- ・可燃ごみの中間処理をお願いする日野市への負担を少なくするためにも、市報やホームページで周知することはもとより、様々な手法を用いて、今後とも国分寺市民と共にごみ減量施策に取り組んでいく。
- ・本日、クリーンセンター連絡協議会に出席の委員を初め、日野市民の皆様

おいては、今後とも更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
＜小金井市環境部長挨拶＞

- ・日野市においては、平成19年度から始まった小金井市の可燃ごみ処理広域支援に当初からご支援をいただいたこと、改めて感謝申し上げます。
- ・現在、小金井市は、人口が10万人以上50万人未満の市の中では、1人1日あたりのごみ排出量が全国で一番少ない市となった。今後ごみの減量に向け、市長も自らが先頭に立って全力で取り組んでいくと申している。
- ・小金井市では、市報やホームページ等で、新施設稼働後に市内から発生する可燃ごみが、日野市内で処理されることを市民に情報発信していくとともに、市長自らも、各種会合で情報を発信している。
- ・今後も、引き続き周知徹底に努めるとともに施設周辺にお住まいの皆様を初め日野市民の皆様の負担を少しでも軽減できるようごみの減量に努めていく。
- ・本日、クリーンセンター連絡協議会に出席の委員の皆様を初め、日野市民の皆様においては、今後ともご理解、ご協力をいただきたく切にお願い申し上げます。

3 議事

(1) 日野市

①プラスチック類資源化施設工事状況

＜説明内容＞

日野市から資料1に基づき説明を行った。

- ・旧事務所棟（自転車再生棟）の解体が完了。
- ・指定収集袋を保管する袋倉庫については、平成31年1月末に完成予定。
- ・基礎工事については、4区間に分け、現在工事中。全て終了すれば順次、棟上を行う予定。
- ・工事車両の搬入路については、日野バイパスからモノレール沿い及び浅川沿いを通行し、クリーンセンターに入場する。搬出は、新井橋を渡り高幡不動方面を通行。
- ・今後のスケジュールについては、平成31年度の試運転を経て、同年32年4月に本格稼働となる予定。工事の進ちょく状況については、随時案内していく。

＜質疑・応答＞

なし

(2) 浅川清流環境組合

①新可燃ごみ処理施設工事状況

②環境定点測定（平成30年度 冬季）について

<説明内容>

①新可燃ごみ処理施設工事状況

浅川清流環境組合から資料2に基づき説明を行った。

- ・前回示した平成30年9月の建設工事の状況と平成30年12月21日現在のものを対比。
- ・写真Aについて、煙突工事は、約38mの高さまで進んだ。全長は約85mなので、半分程度まで進んだ。
- ・写真B及び写真Cについて、9月の段階では地下部分の工事が主だったが、現在は地上部分に進み、鉄骨工事を開始した。プラント工事については、12月に入りプラント部分の据付けを本格的に開始した。
- ・写真Bの部分には、1階に駐車場、3階にごみを投入するプラットフォーム、5階には事務所、6階には会議室が設置される予定。
- ・写真Cについて、ステージを組んでいる部分がごみピットとなる部分。建設現場が狭いので、この部分を一時的な資材置場としている。右側にはタワークレーンを設置し、プラント機器の据付けに使用。
- ・写真C上空は多摩川側より、写真Dは浅川側より建設現場全体を撮影。
- ・工事は順調に進んでいる。

②環境定点測定（平成30年度 冬季）について

浅川清流環境組合から資料3に基づき説明を行った。

- ・年2回（夏季・冬季）の測定のうち、今回は冬季測定を平成30年12月27日及び29日に実施する予定。
- ・施設停止時における測定は、今回は新井わかたけ公園で実施。施設運転時は、新井公園、新井わかたけ公園、落川交流センターで実施。
- ・今回の測定結果は、ホームページで公表する予定。

<質疑・応答>

（委員）：工事の進捗率はどのくらいか。

（組合）：建築工事で約45パーセントの出来高、プラントも加えた全体では約25パーセント程度。

（委員）：今年度における工事の進捗は順調か。

（組合）：順調である。

4 その他

日野市より、プラスチック類ごみの分別収集について情報提供を行った。

- ・平成30年第4回日野市議会定例会において、プラスチック類ごみの分別収集に係る「日野市廃棄物処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する

条例」が可決された。

- ・改正内容は、プラスチック類ごみの分別収集の開始と処理手数料を可燃ごみ及び不燃ごみと同様とするものである。
- ・今後は平成32年1月からのプラスチック類ごみの分別収集の実施に向け、市民へ分別方法やごみ減量などについて周知するため、平成31年5月発行の日野市のごみ情報誌「エコー」や、広報「ひの」で月1回の連載記事を掲載していく予定。
- ・また、分別ガイドを作成し、全戸配布する予定。それをもとに、7月、8月にかけて中学校区ごとの説明会を開催していきたいと考えている。この中でプラスチック類の分別とごみそのものを減らしていく説明をしたい。
- ・また、自治会などの要望により、出前講座も実施し、丁寧な説明をしていく予定。
- ・日野市としても、容器包装お返し大作戦などの取組みを推進し、拡大生産者責任についても迫及していく対応を考えている。
- ・さらに平成31年度からは第2次ごみ改革の取組みの中で、ごみ全体の発生抑制、また、再利用、リサイクルなどにより、ごみ量全体を減らしていくことを目的に、事業を推進していく。

<質疑・応答>

(委員)：出前講習を実施するとのことだが、いつ頃から、どのくらいの時間実施するのか。

(日野市)：平成31年7月、8月に中学校区で説明会を実施するが、それ以降であれば要望を伺いながら随時行う予定。

(委員)：日野市のごみ情報誌「エコー」の記事で、プラスチック類ごみの分別収集が平成32年に始まる旨の案内があるが、現在、発泡スチロールやトレー類は洗って分別し、無料で回収してもらっている。今後は有料袋と一緒に入れて処理することになると思うが、今まで慣れ親しんできた分別・収集の方法を変更し、一緒に有料袋に入れてしまうのは違和感がある。

(日野市)：収集方法の変更については丁寧に説明していかなければいけないとの認識でいる。また、トレーについては第2次ごみ改革の取組みの中で、お返し大作戦により購入した店へ返却してもらおうようさらなる周知を実施していくとともに、まだ対応してもらえていない店舗へも依頼をし、対応可能な店舗の拡充を推進していこうと考えている。

5 閉会

以上